

地熱染め

～松川の蒸気が生み出す大地の作品～



八幡平市立
平館小学校 6 年生
地熱染めグループ



目次

地熱染めの商品について	1 P
「一枚の布からなる自分の宝物」	
染めの作り方	2 P
「まるで魔法 地熱染め」	
地熱染めの特徴	3 P
「八幡平の恵みを作り出す地熱染め」	
地熱染めの布について	4 P
「布の秘密？」	
作家の思い	5 P
「四季を表す作家の思い」「感想」	
感想	6P

一枚の布からなる自分の宝物



地熱染めは、世界で一か所、この八幡平市だけでできる染め方です。

地熱染めの商品はハンカチ、ティーマット、マフラー、ネクストラップなどがあります。最初はハンカチを紹介します。

地熱染めで作ったハンカチは世界に一つしかない自分だけの作品になります。

ハンカチが一番手軽に染めることができるので初めて体験をする人などにおすすめです。



次にマフラー、ネクストラップ、ティーマットを紹介します。

マフラー、ネクストラップ、ティーマットは自分の好きな色などを入れたりできるので自分だけの作品を作ることができます。

これらの商品は実際に行って購入することができます。行けない人はインターネットでも購入することができます。



地熱染めでは、様々な色や絞り方を工夫して四季を表すこともできます。地熱染めで四季を表すのはとても難しいことです。特に、初めての人は難しいのですが、ある程度経験をしている人は挑戦するのもいいかもしれません。

まるで魔法地熱染め



① 生地選び、デザインイメージ考案

季節、色柄、作品のデザインなどを考えながら、高温の地熱蒸気に適した素材を選定します。

③ 染料調合

蒸気状態、生地特性、作品全体の色調を念頭に様々な染料を選び出し調合します。
染色は約15色程度用意します。



⑤ 窯入れ

着色後直ぐに「窯」に入れます。この窯は地熱蒸気を直接充填させることができ100℃近い温度で染料の定着と地熱蒸気による色の変化を促します。

皆さん地熱染めの歴史は知っていますか。

地熱染めは「1981年旧松尾村より染色装置の開発及び譲渡を受け、基本的な地熱染めの技法を確立しました。」その後試行錯誤をくりかえし地熱染めが完成しました。



② 絞り

仕上がりの模様を予想して布にしわを寄せて糸でくくります。多色染めに適した独自の絞り方です。



④ 着色

試染めをすました染液を並べて、絞りを施した布を次々に重ねて着色していきます。着色するスピードも重要です。布の中には新たな色調が生まれていきます。



⑥ 仕上げ

窯から出した布の絞り糸を解き、よく水洗いをします。その後アイロンを掛け、検品、縫製、表装などを経て作品商品として完成します。

〈八幡平の恵み作り出す地熱染め〉



1 八幡平から噴射される地熱蒸気

大地から噴射する地熱蒸気を利用して作る地熱染めは、松川温泉の地熱蒸気を使っています。この地熱蒸気は、地熱染めを作ることにとても適しており、体験場所は世界でもこの八幡平市にしかありません。八幡平の恵みを使い素敵な作品を作ってみてください。

2 世界に一つだけの作品

世界で一つだけの作品を自分で作ることができます。自分だけの作品を作りインテリアとして飾たり、コレクションにしたりしてもいいですね。





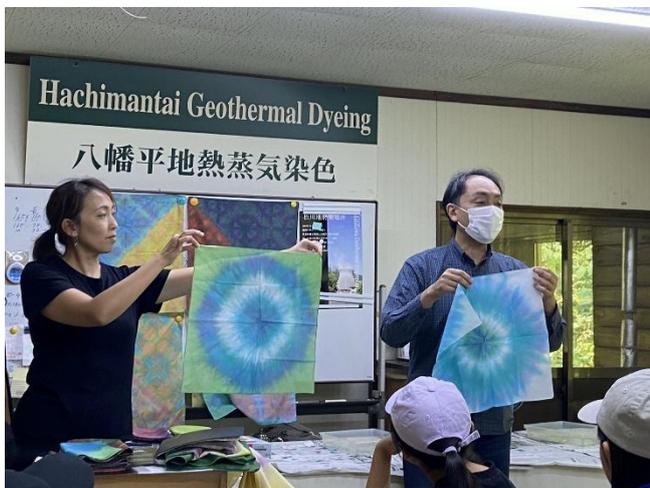
3 地熱染めのカラー

地熱染めの色は、とても鮮やかできれいです。色同士の混ざり方や、染色するスピードにもより色が変わります。地熱染めの作家の高橋一行さんは、「熱することにより、混ぜた色の片方が先におちるので、自分が作品を作るときは、色のおち方もふまえて、作る。」とおっしゃっていました。

布の 秘密

材料の布

皆さん地熱染めに使っている材料の布を知っていますか、それについて紹介します。材料の布は絹、レーヨン、綿、ウールなど、いろいろな素材を使っています。



生地選び！

生地は、吸水性や色の付きやすさ、デザインのイメージに合っているものを使っています。

四季を表す作家の思い

一行さんが大事にしていること。

作家の高橋一行さんが一番仕事で大切にしていることは、「八幡平の色や自然の良さを世界の人々に知ってもらい八幡平に来てほしい。」という考えだそうです。

「四季それぞれに違う景色を楽しめるということが八幡平の良さだ」と教えていただきました。

四季の色から地熱染めの色を決め、ドラゴンアイや紅葉を表現し、世界に一つだけの作品を作っています。皆さんも世界に一つだけの作品を作ることができます。地熱染めをぜひ体験してみてください。



地熱染めを継いだ理由

高橋一行さんは子供のころから染物に興味があり、きれいな色を自分でも染めてみたいと思っていました。今では母陽子さんとともに地熱染めについて研究し繊細できれいな地熱染めを作り、観光客の方々に地熱染めの作品を手にとってもらえるよう日々活動に励んでいるそうです。

地熱染めの未来

地熱染めを体験する観光客は、コロナウイルスや、樹海ラインの通行止めなどで、減りそうでした。そして、台風などでの思わぬ蒸気管の破損などで大変でしたが新しい絞り方を考えたりや宣伝したりして、少しずつ観光客を増やしてきました。高橋さんの地熱染めへの熱い思いがあったからこそ、観光客を増やすことができたと思います。

高橋さんは地熱染めが「海外の人にも手に取ってもらえるようになったり、地熱染めを見て八幡平市に来てみたいと思ったりしてほしい」とおっしゃっていました。

高橋さんは八幡平市の子供たちに「八幡平のいいところを見つけ、大切にしてほしい」と期待しているそうです。

感想

私は地熱染めについて知り、私達が過ごす八幡平の恵みについて気が付くことができました。地熱染めについて一番驚いたことは染色するスピードにより色が変わったり、色によって先に抜けたりすることです。そして、四季の色を表現できることにも驚きました。

私は、地熱染めを体験してドキドキしながら、完成した作品を見たら、とてもきれいにできていて嬉しかったです。また体験してみたいと思いました。

ぼくは地熱染めという言葉は知っていたけれど、具体的にどのようなものかはあまりわかっていませんでした。ですが、調べるにつれ地熱染めは世界に一つだけの技法だとか、染料には熱で定着するものを使っているなど自分が知らないことをたくさん知ることができました。陽子さんや一行さんの作品はとても綺麗で色鮮やかでした。自分もあんな作品を作りたいと思いました。

ぼくは、最初、材料の布がどのようなものか知らなかったけど、この調べ学習で知ることができて良かったです。高橋さんの思いは情熱的なので、ぼくも経験してみたいと思いました。

ぼくはこの学習をする前は地熱染めを知らなかったけど、地熱探検隊や調べ学習で調べていく中でとても詳しくなることができました。一番びっくりしたことは地熱染めをできるのはこの八幡平市だけだということです。高橋陽子さんの作品を見て長年の勘と経験で作っていることが分かるくらいきれいな作品ですごいと思いました。

参考した資料

GEOCOLOR のパンフレット

観光パンフレット「はちたび」

観光パンフレット「八幡平ガイドマップ」